

# 地域文化としての BAR の創生



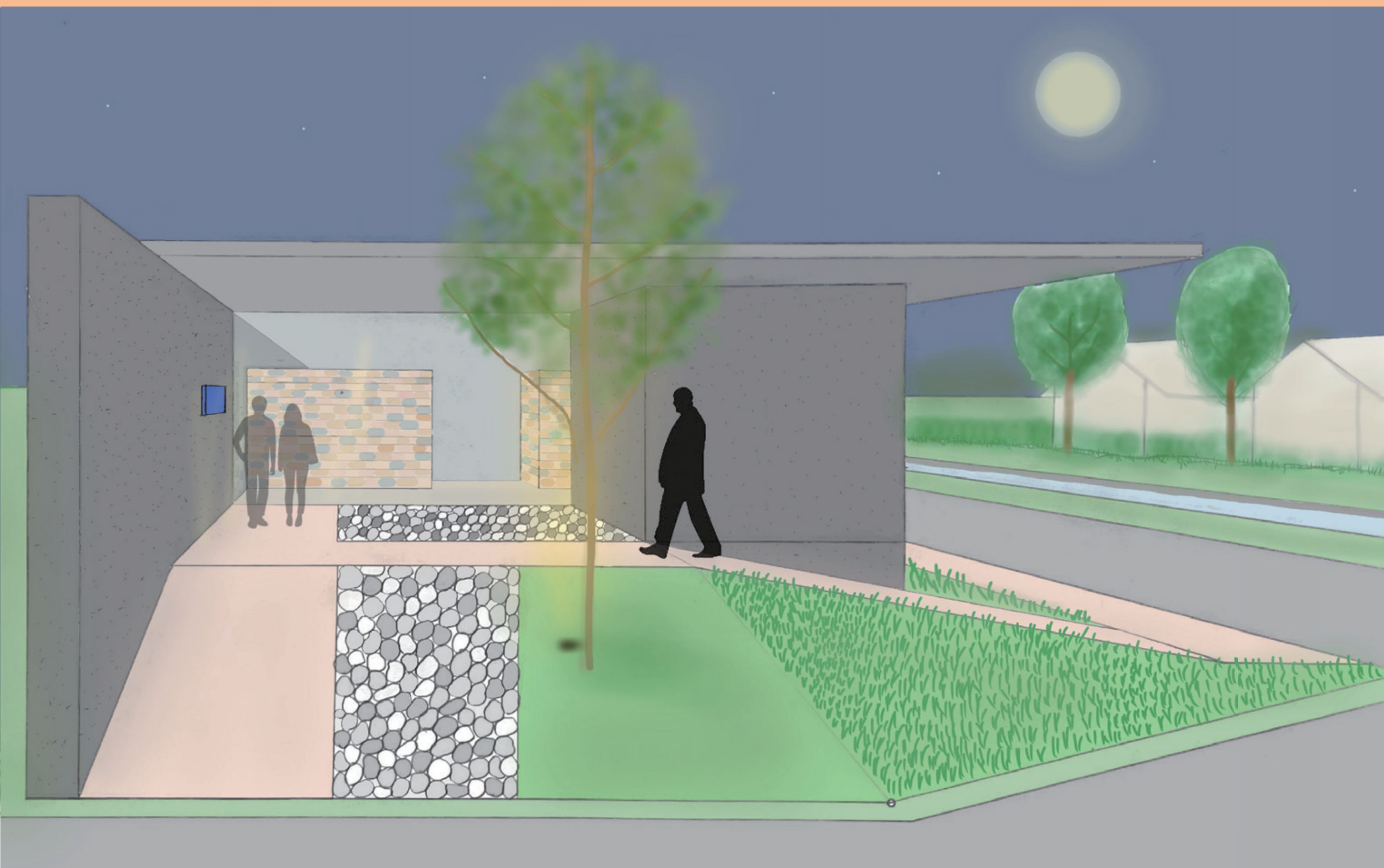
全体的に開放感を感じられる。カウンターからは川のせせらぎを感じられ、精神浄化が期待できる。BAR から漏れる光や雰囲気、この建物の存在自体が都市に精神的効果を与えている。



# —茶坊 KAMOGAWA —

A19AB100 中川 哩摩

加藤研究室



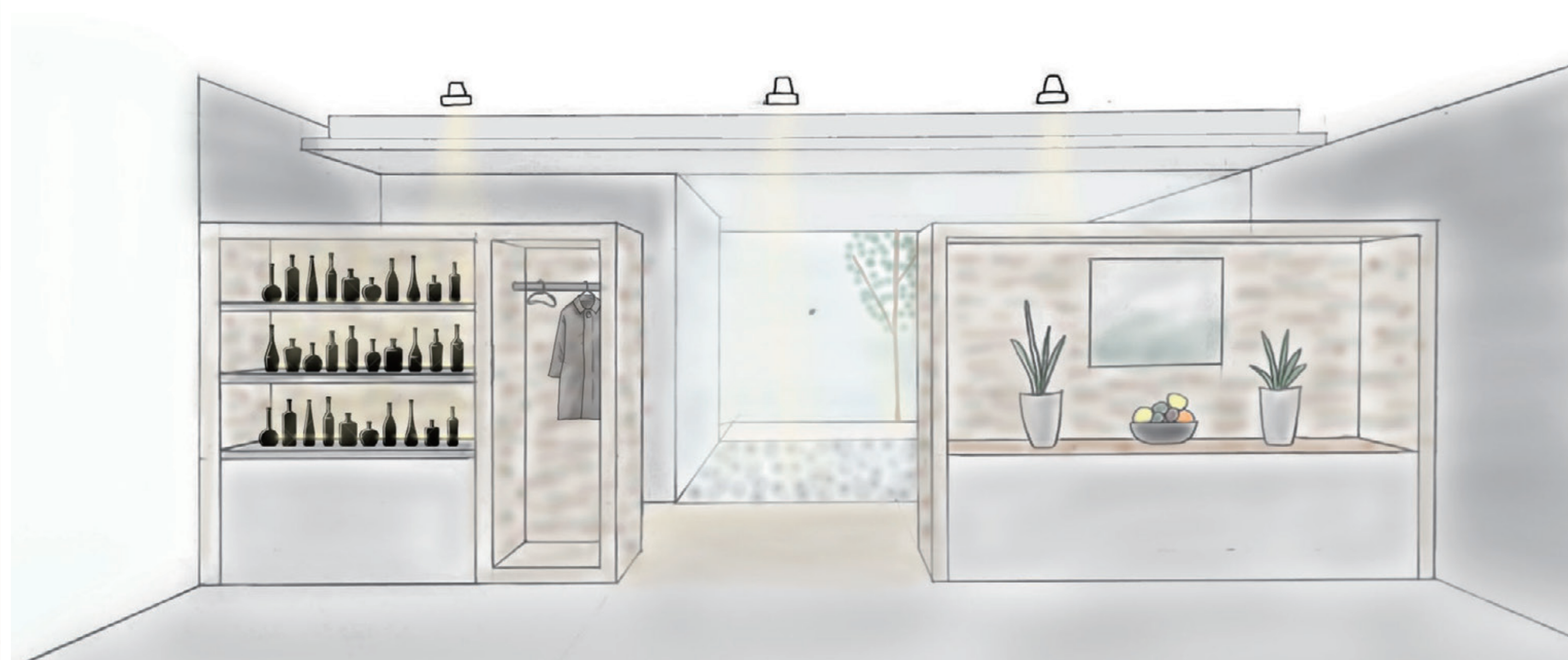
店前アプローチ

ガラス越しに見える壁の魅力に引き付けられ、店内に入りたい気持ちをそそる。中庭の一本の木による精神浄化。



エントランス

店内と屋外の繋がりを感じられ、外から中に入る際の気持ちの切り替え、気分転換が行われる。



ボトル棚の後ろの照明効果によりボトルラベルが浮いて見える。アプローチからちょうど見えるため店内への興味をそそられる。



ソファ後ろに照明を設置することで重心が低くなり、より安ど感。リラックス効果が高まる。



トイレ  
店内唯一のプライベート空間。



# 研究背景

現在、BAR は商業ベースで設計され、回転率の良い店が主流になっている。ケ・ケガレ・ハレ（柳田 邦男）の中で BAR は「ハレ」に相当している。そのことを踏まえて「身体的・精神的な効果をもつ環境」を卒業研究の課題として選ぶことで、将来この成果が活かされることが重要であると考えた。

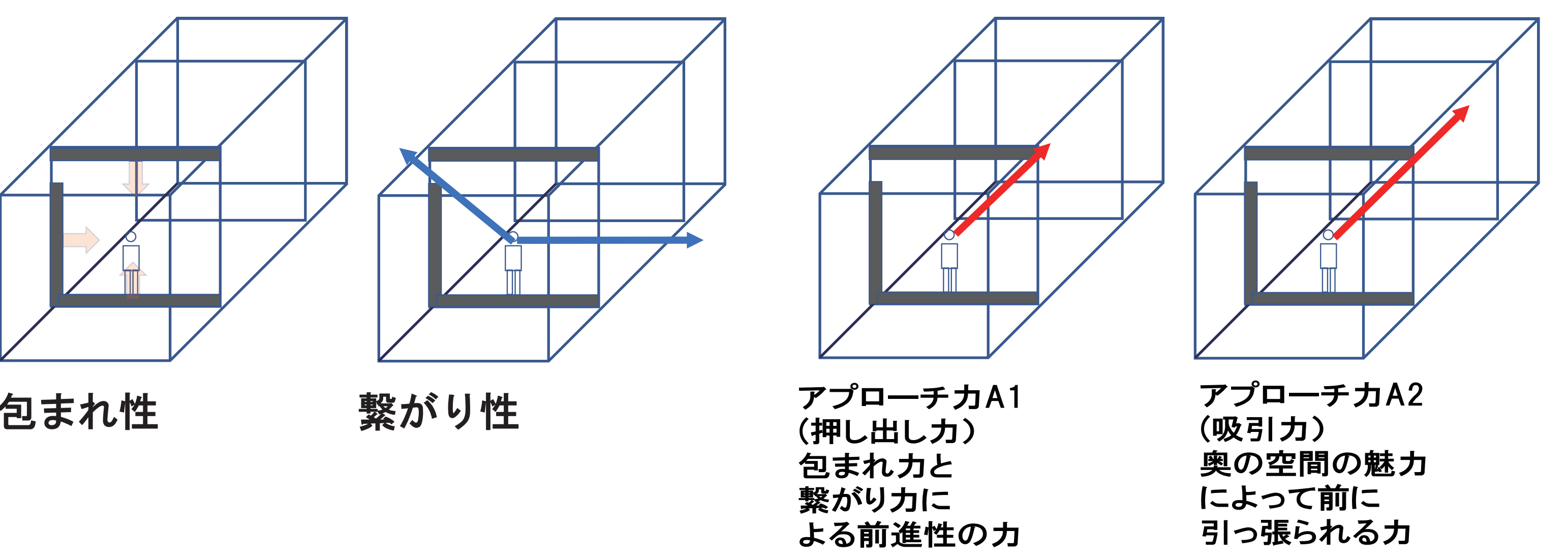
# 茶室と BAR/ 研究対象

茶室（千利休の待庵）は BAR の原点であり、精神的に奥深い世界が用と形と意によって演出されている。人と人の出会いを空間によって実現させるこの世界観・環境のある「イマ・ココ・ワタシ」を基準としたコミュニケーションが人間的で濃厚な、アプローチ、カウンター席、テーブル席、イベントゾーンといった極めて単純なゾーン構成から成る BAR を選択した。今回、加藤和雄の作品 2 点、BAR「X16」・JAZZ BAR「TENDER LEE」に研究対象を絞った。

# 研究目的

現地現場にて空間測定並びに空間観察を行う関係上、加藤先生に協力をお願いし、経営者に許可をとり調査を行った。本卒業研究では、2 つの BAR のインテリアデザインにおける空間手法を抽出し、それがもたらす身体的・精神的効果について考察を行い、その関係を明らかにする。

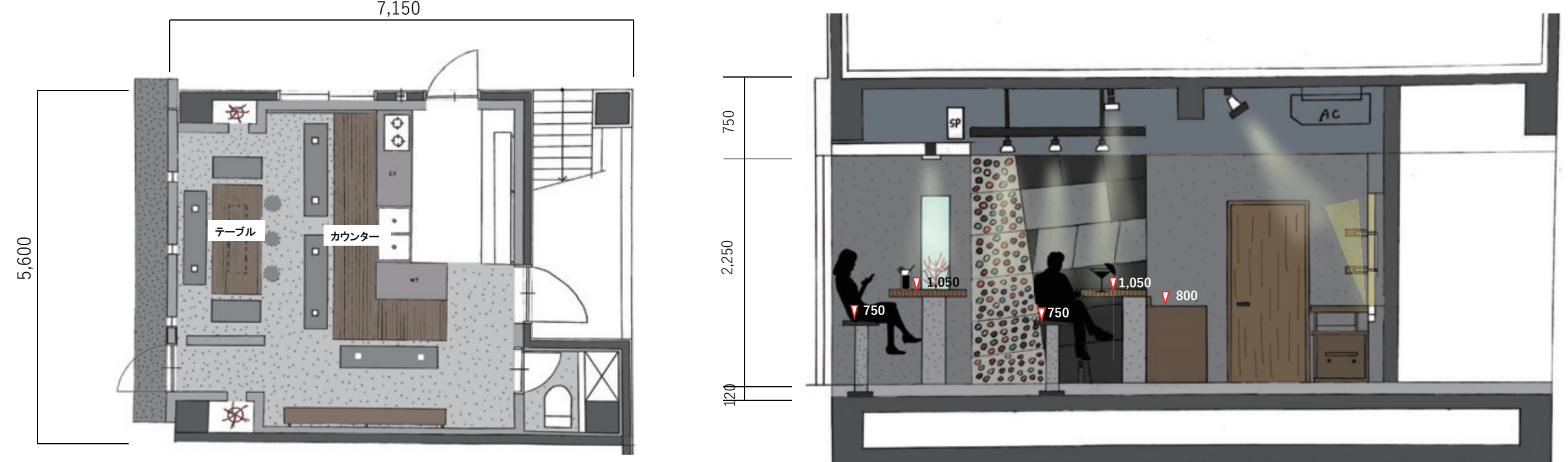
# 空間的体感性（包まれ性・繋がり性・アプローチ性の定義）



この定義を以下の研究の基準とする。

# 調査

1. BAR「X16」 現地現場より平面図・断面図 1/30 を作成。

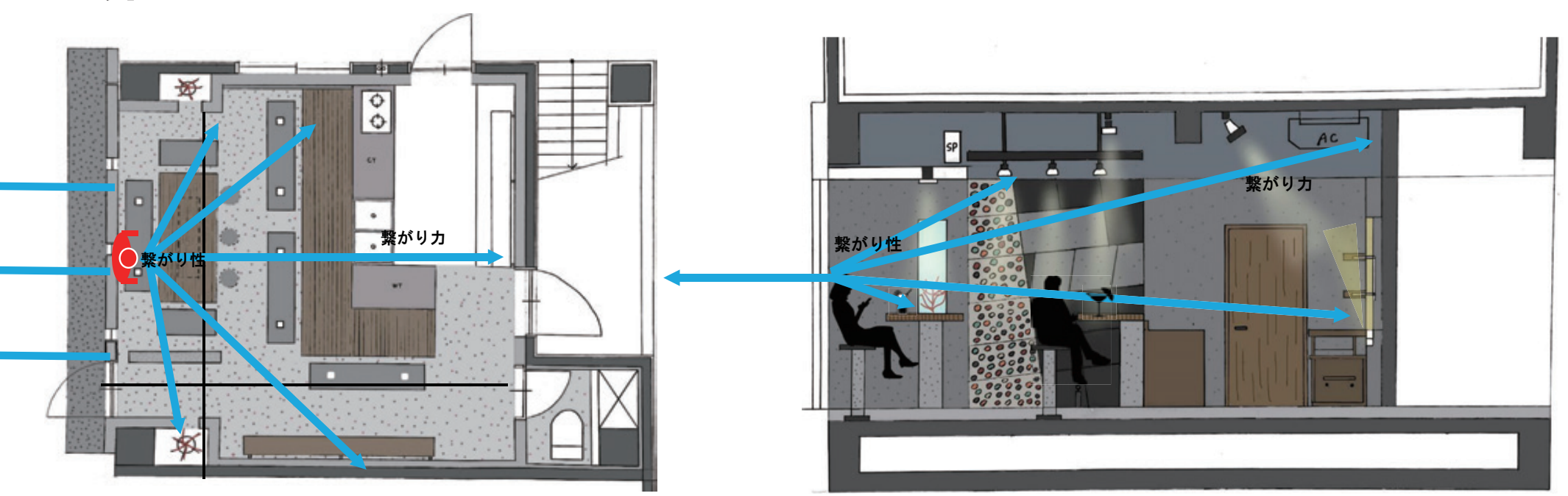


2. 包まれ性の把握



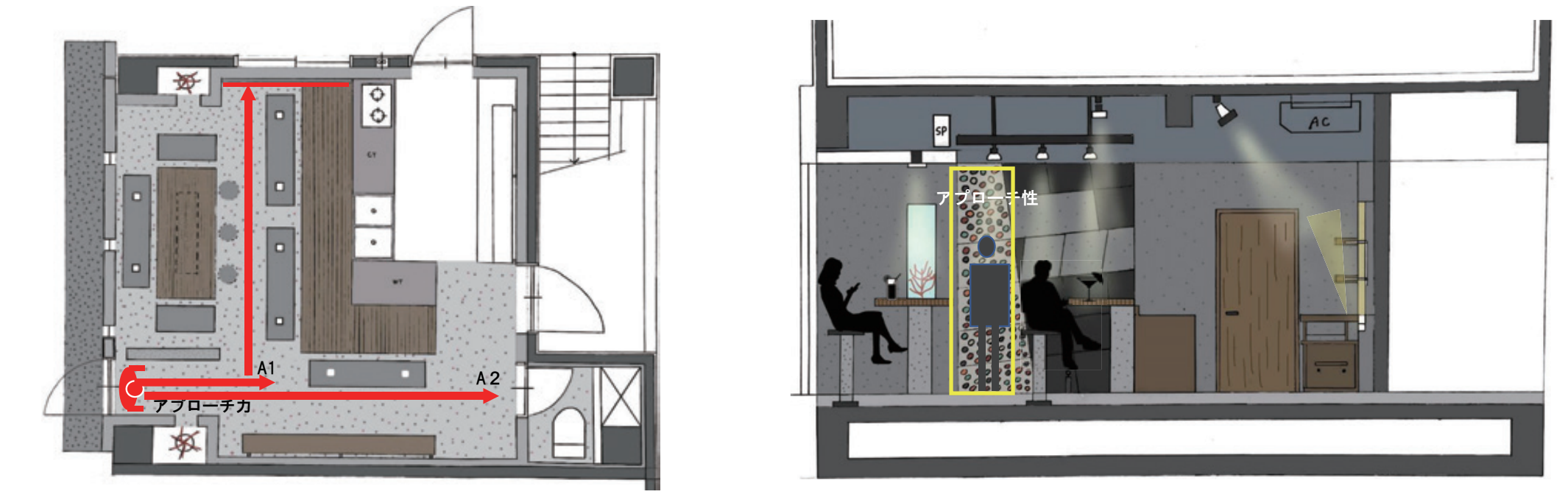
・テーブル部→包まれ感が創成。  
カウンター部→囲われ感、心地  
よいフィット感が創成。

3. 繋がり性の把握



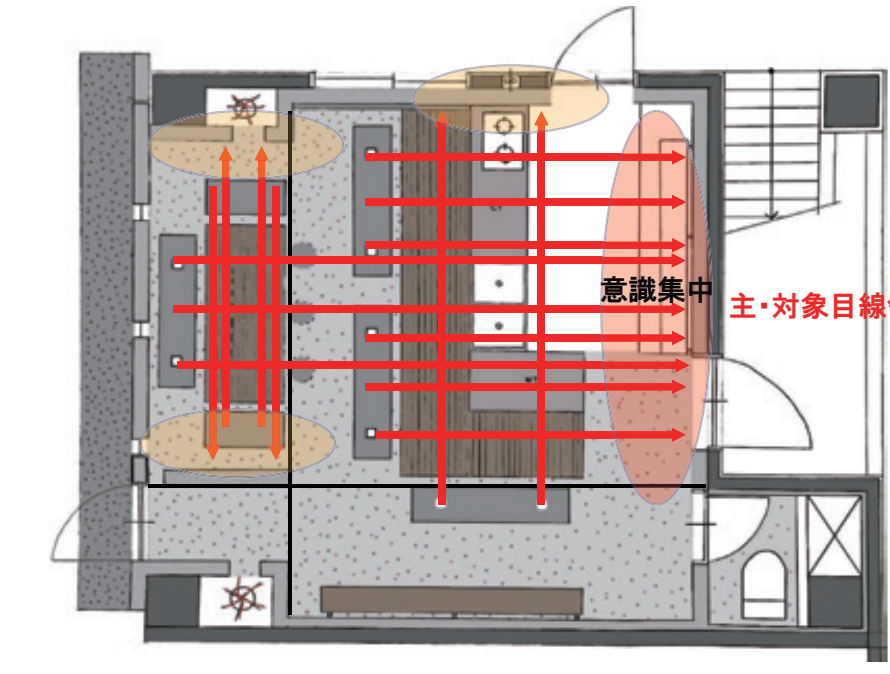
・テーブル席とカウンター席の  
ゾーンが繋がれる→一体性→  
奥への開放感が創成。  
テーブル席とカウンター席か  
らアプローチ部への繋がり力  
→一体性→開放感が創成。

4. アプローチ性の把握



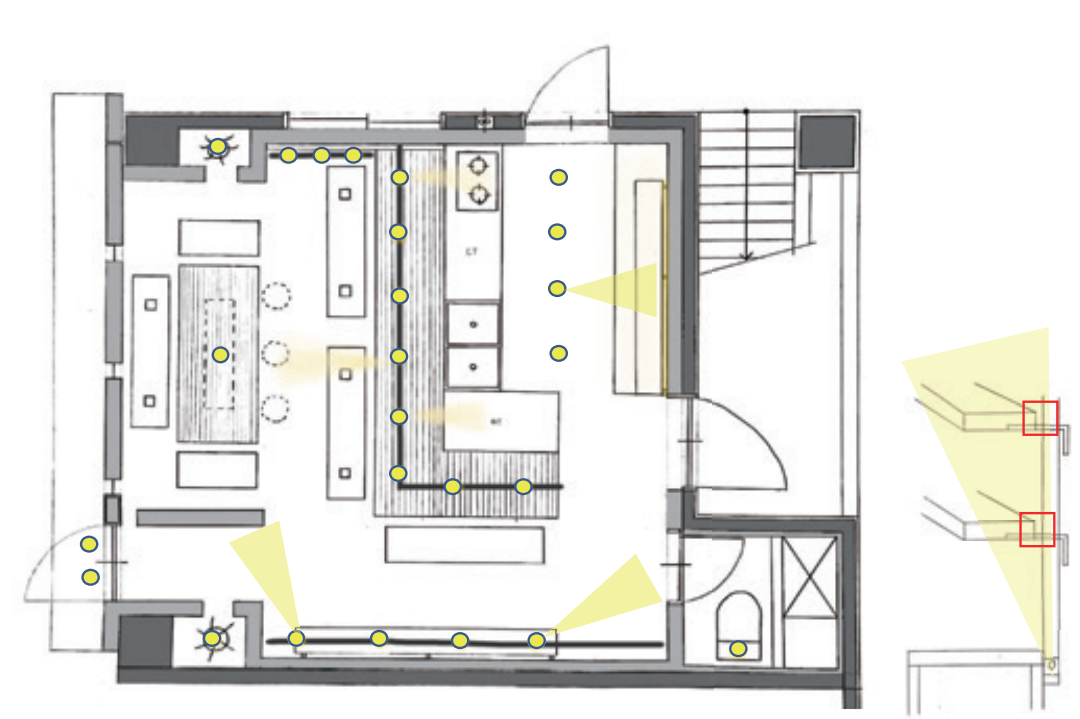
・エントランス部において双方  
の壁から内へ包まれ力が働く  
→前進性的アプローチ力  
奥のカウンター一部の壁の魅力  
→前への吸引性的アプローチ  
力→気分転換、精神浄化等の  
気分が創成。

5. 客目線の想定



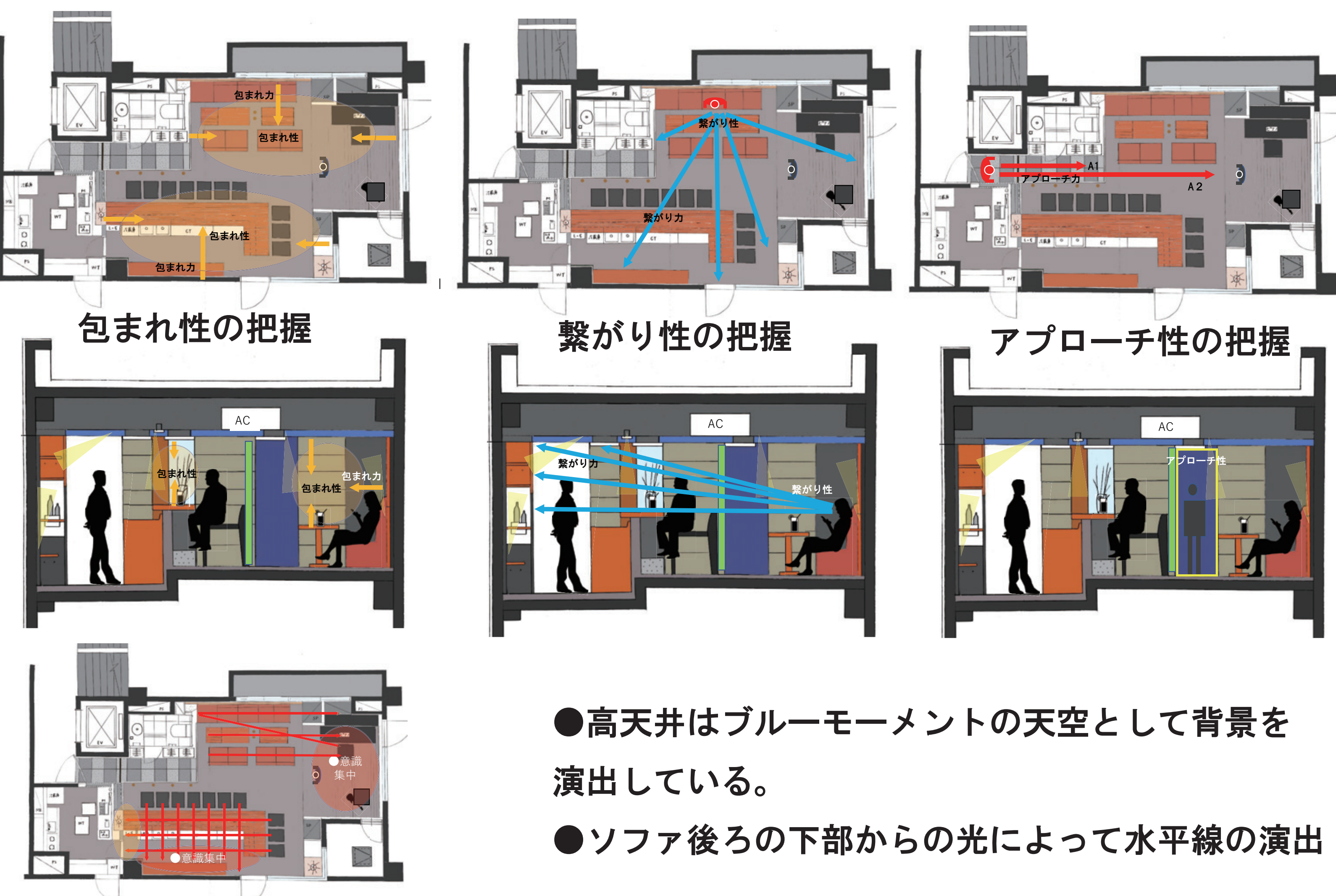
テーブル席：  
・対面目線、クロス目線  
↓  
・対話空間  
カウンター席  
・クロス目線  
↓  
私的空間・半対話空間

6. 照明効果の把握





JAZZ BAR「TENDER LEE」も同様に空間の把握を行った。



## 研究結果

- ・図面のインテリアシェルター（建物の一番内側にある床、壁、天井）の形状と包まれ性・繋がり性・アプローチ性は大きく関係しており、身体的・精神的効果に大きく影響しておること、奥深い世界を引き出せることが分かった。
  - ・目線の対象領域について  
インテリアの配置によってクロス目線、対面目線が成立し目線がある一つに集中させることができることが分かった。
  - ・照明器具について  
照明器具は角度を自由に変えられるスポットライトを使うことで強調照明の役割が果たされていた。また BAR「X16」においてショーケースに施された照明効果により商品を浮いたように見せていた。
- 以上のことを設計に反映させる

## 提案

- ・計画敷地：岐阜県美濃加茂市太田町



計画地は駅から東へ 500M、徒歩 5 分  
敷地から西に加茂川のせせらぎが堪能できる。

- ・MD コンセプト

・対象者
仕事を終えた社会人、気分転換、友人との会話、バーテンとの会話、店に来ている初めて出会うお客との語らい等を求め BAR に足を運ぶ顧客。
・扱い商品・サービス
コーヒー、紅茶、アルコール、カクテル、ビール、ワイン、ノンアルコール、フレッシュジュース、パスタ、ピザ、デザート
ライブ料金：ライブ時のテーブルチャージ (ピアノ演奏のみ)1000 円、ライブ料 1000 円～ 2000 円
飲食料金 (平均単価)：2000 ～ 3500 円
営業時間
11:00 ～ 23:00( お昼：カフェ 17：00 ～ BAR)

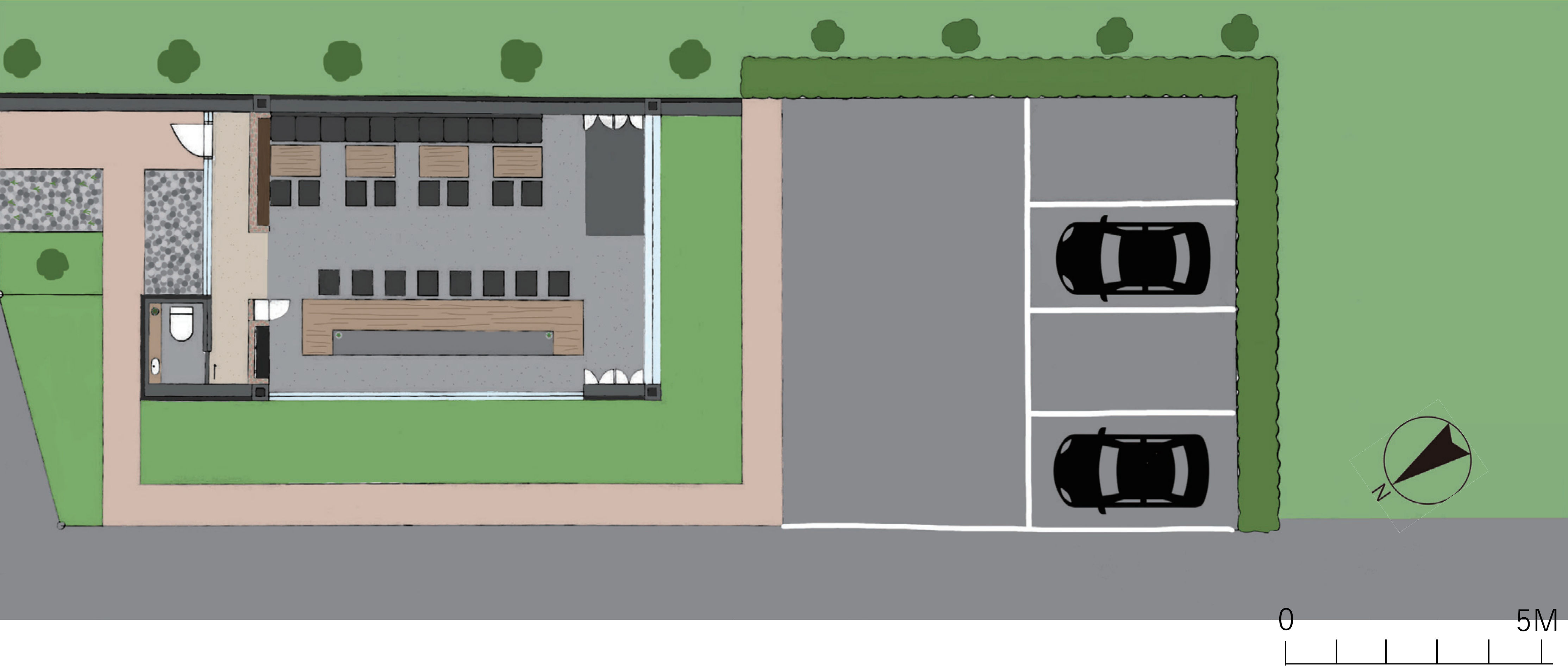
・ロゴ

茶坊；単にお茶を飲むだけではなく、人々が集うサロンの意味合いも持つ。

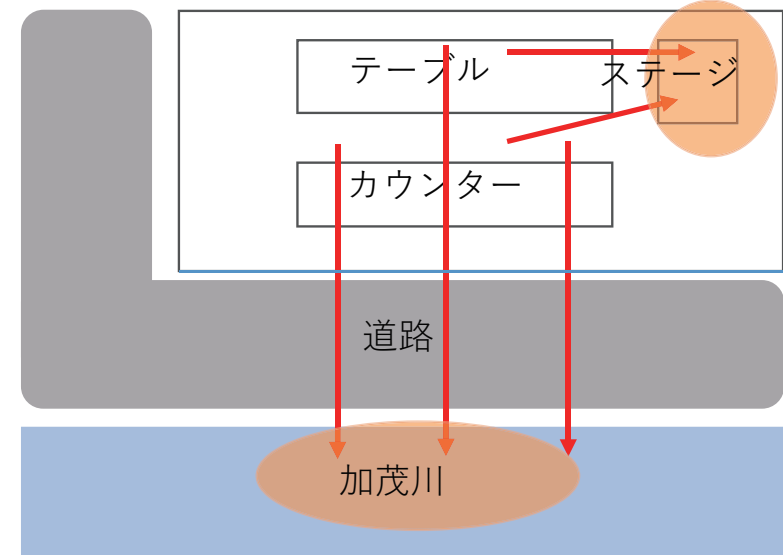
地元美濃加茂のサロンとなるような場所を目指して「茶坊 KAMOGAWA」という名前に。



平面図 1/50

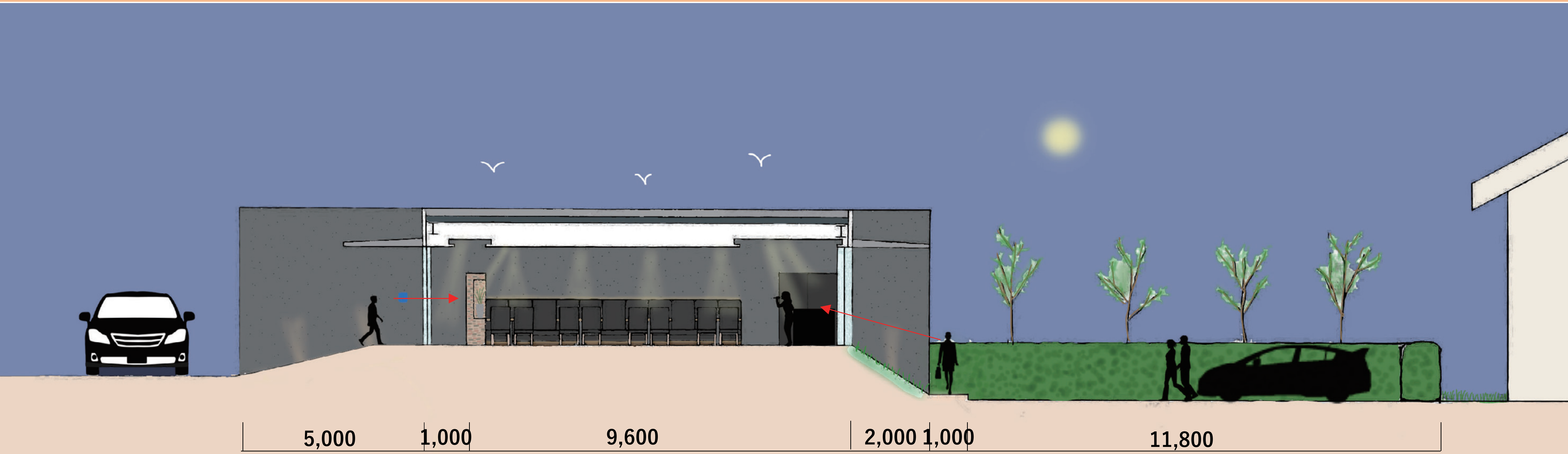


平面作成までの過程



- ①加茂川を見ることによって精神浄化しながらバーテンとの会話やお酒を楽しめるようにカウンターを手前に配置し、道路と川の高低差を配慮し、バーの高さを地面から上げる。カウンター側をガラス張りにする。
- ②テーブルをカウンター奥に配置し、ステージをテーブル横に配置することでクロス目線が発生し、お客同士がコミュニケーションとりやすい状況に。

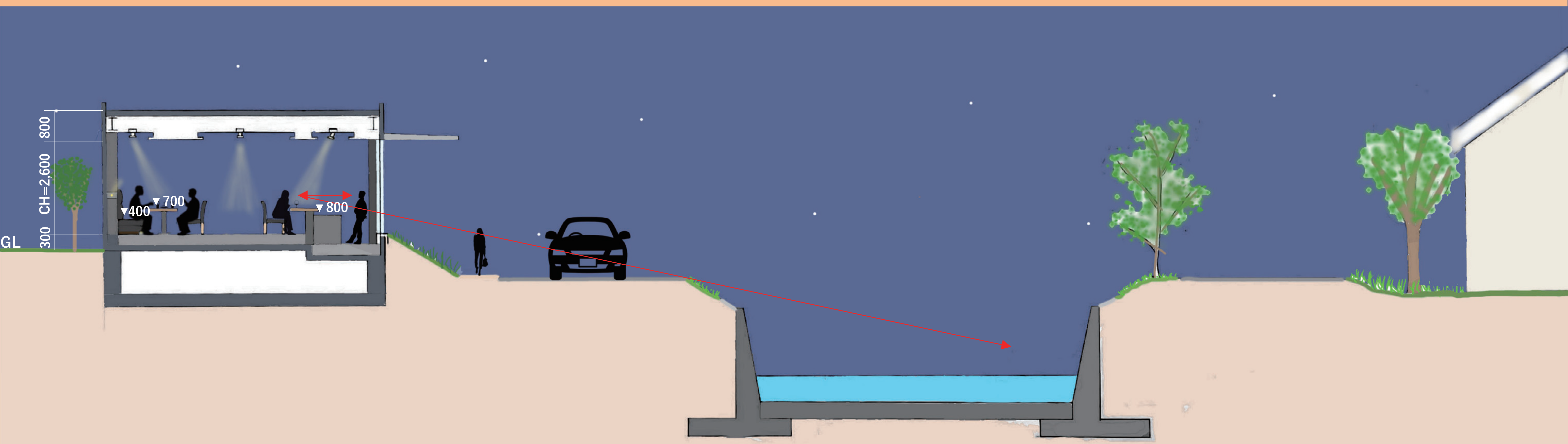
断面図 1/50



ガラス張りにし、中の様子が見える化することで、入る前の人に生じる緊張感や心理的な障壁をなくすことができ立ち寄りやすくなる。  
中からは開放感と外との繋がりが一層増し、快適性が増す。客席は間接照明を用いることによって光源の光よりも柔らかい光として演出されるので外からはあまり見えにくい。



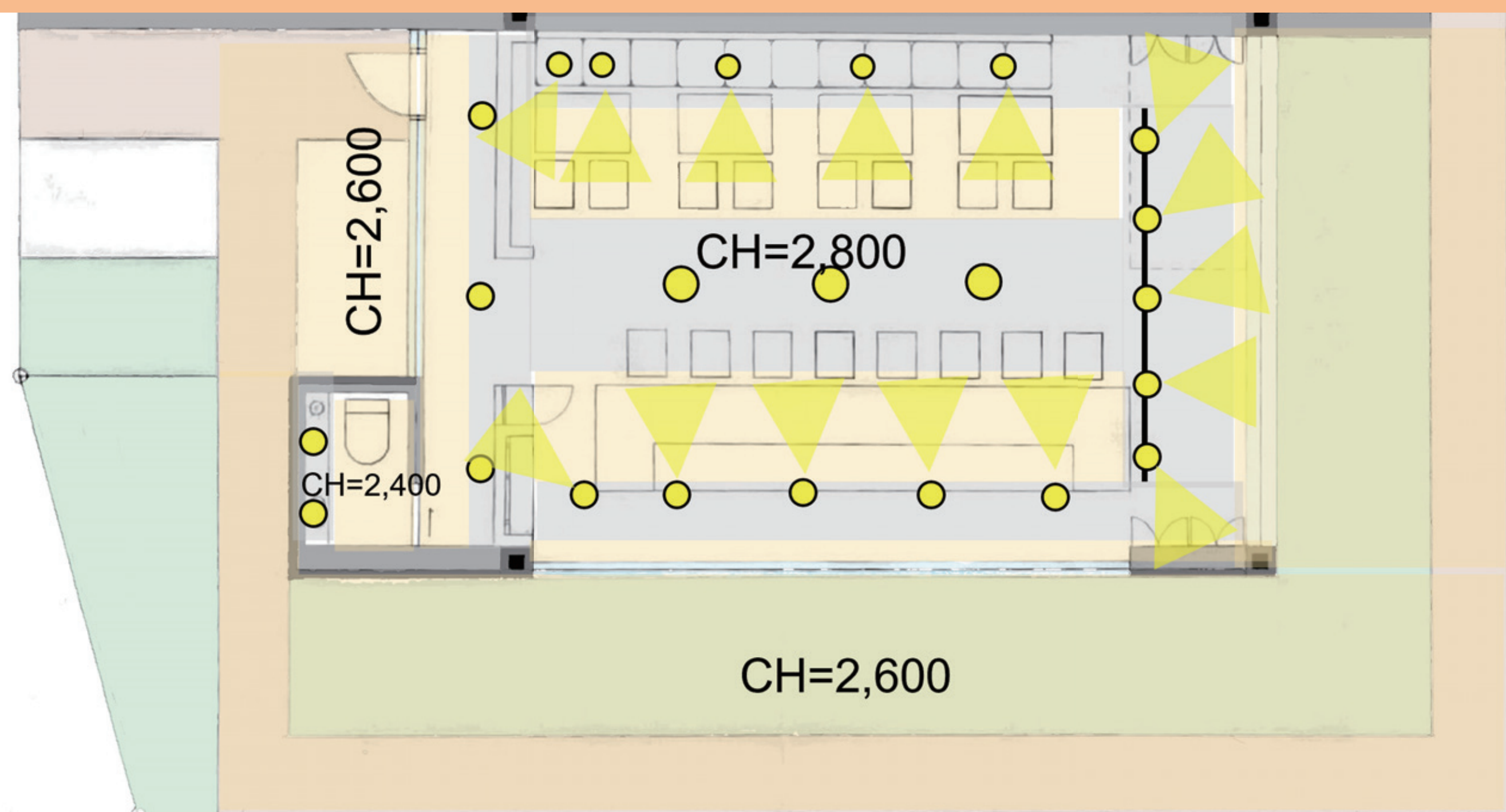
## 断面図 1/50



厨房部分の床の高さを下げることによってお客さんとバーテンとの目線が対等になり、より親しみがわき会話が生まれる。

席から川や木々が見えることによって自然を感じることができ、心のリラックスに繋がる。

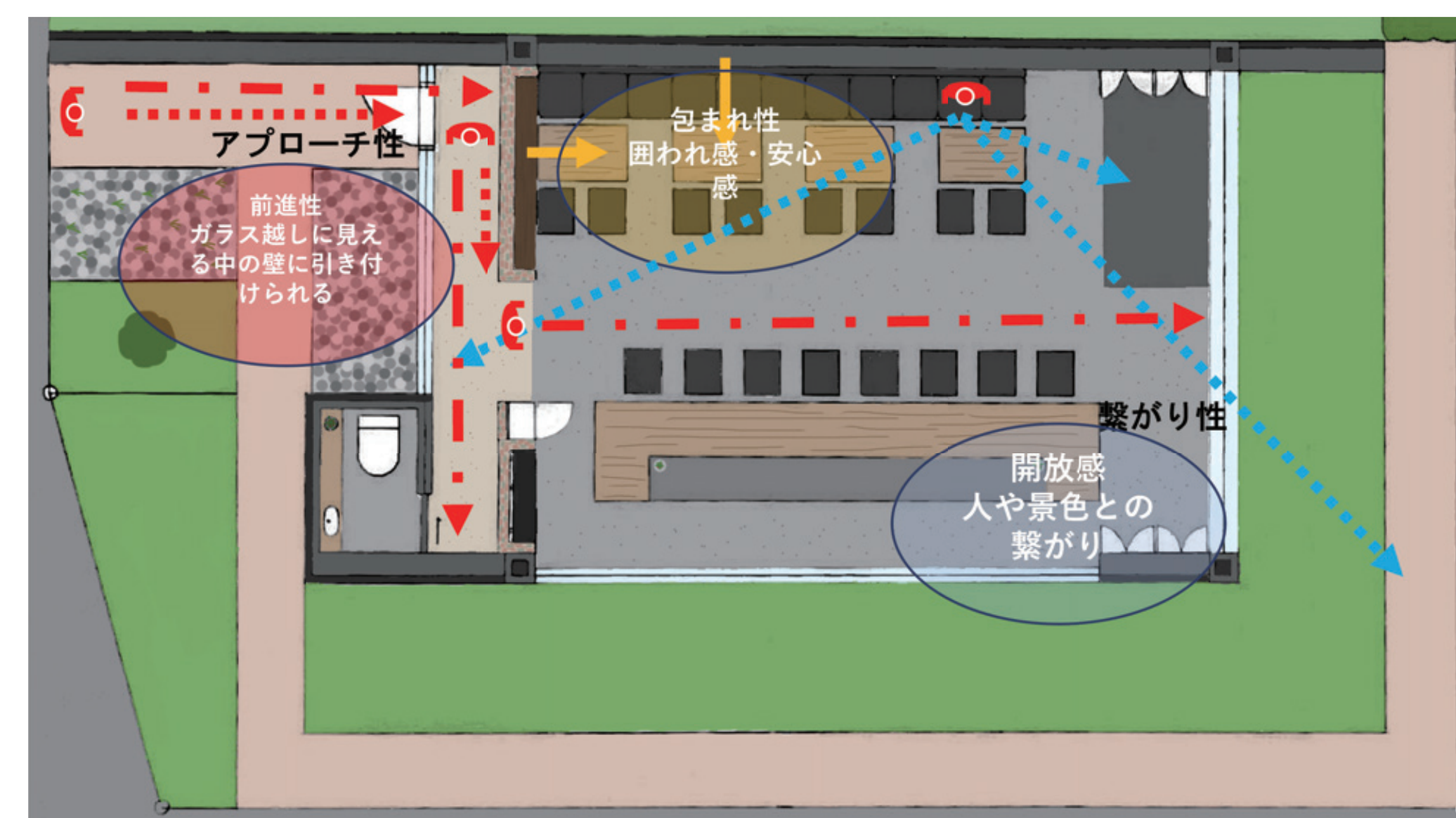
## 天井伏図



照明は角度を自由に変えられるスポットライトを用いることで限られた数で全体を明るくすることができる。

天井の高さを変え、間接照明を用いることで光源がダイレクトに目に入らず、天井や壁に反射されるため柔らかい光になり、リラックス効果が生じる。

## 期待できる身体的・精神的効果（平面図より）



アプローチ力 A1  
(押し出し力)  
→点線  
アプローチ力  
(吸引力)  
→中黒のある点線

インテリアシェルターによって包まれ性、繋がり性、アプローチ性が生じる。

- ・包まれ性によって、囲われ感・安心感が生じる。
- ・繋がり性によって開放感が生じ、人や景色との繋がりを濃くすることができる。
- ・ガラス越しに見える壁の魅力によって生じる前進性アプローチ性によって建物の中への興味やわくわく感が生じる。